

# 平成 29 年 11 月市長定例記者会見 記録

平成 29 年 11 月 24 日(金)

午前 10 時～午前 10 時 30 分

## 発表案件

### 1 平成 29 年度佐渡市一般会計補正予算（第 8 号）について

平成 29 年度佐渡市一般会計補正予算第 8 号について、説明をさせていただきます。

12 月定例市議会に佐渡市一般会計補正予算第 8 号を上程いたします。今回の一般会計の補正予算の規模でございますが、2 億 2 千 3 2 0 万 2 千円を追加し、予算総額は 5 0 7 億 4 3 4 万 8 千円となります。

概要は以下の通りでございます。

1 番目、佐渡中央文化会館整備事業については、築後 23 年経過したアミューズメント佐渡において、舞台吊物、音響設備、空調設備の更新や天井、外壁の改修などを行う大規模改修事業で、工事期間は平成 29 年度から平成 30 年度の 2 か年を予定しており、今年度は 5 千 1 6 3 万 9 千円、来年度は 1 6 億 6 千 9 6 6 万 6 千円を計上いたします。

続きまして、両津公民館解体事業につきましては、老朽化した両津公民館を解体する事業で、工事期間は平成 29 年度から平成 30 年度の 2 か年を予定しており、今年度は 1 千 8 4 9 万 1 千円、来年度は 3 億 4 千 7 4 3 万 5 千円を計上いたします。

3 番目は市有施設解体事業については、来年度に解体予定の市有施設について、解体工事の設計業務や、解体工事による周辺民家への影響を調査する経費を計上するものです。保育園の解体に係るものにつきましては 9 2 3 万 5 千円、総合多目的施設の解体に係るものについては 3 5 0 万円、体育施設の解体に係るものについては 2 千 8 4 6 万円、消防施設の解体に係るものについては 4 2 9 万 9 千円を計上いたします。

4 番目は児童館・学童保育運営事業についてです。真野体育館の解体に伴い、現在、真野体育館に設置されている真野児童クラブを真野小学校に移転する経費に 5 7 5 万 7 千円を計上いたします。

5 番目は国民保護事業についてです。近年、熊本地震等、大規模な自然災害が頻発していることを受けまして、市民の皆様が迅速かつ確実に避難できるよう、全国瞬時警報システム、いわゆる Jアラートの新型受信機の導入等に係る経費に 8 2 5 万 2 千円を計上いたします。

6番目、その他の経費につきましては、9月の補正予算編成後の事由による緊急性のある経費について計上させていただきます。

## 2 新潟県による新たな津波浸水想定を発表について

国が平成26年に新たな知見による津波断層モデル60断層を公表したことを受けまして、県が新たに津波浸水想定を作成していたものが、15日に公表されました。

従来の6断層から9断層へと想定も大きく変わったことにより、当市への影響も大きく変わりました。

浸水区域は、およそ500ヘクタール増加しまして、1,860ヘクタールとなり、ほぼ、全地域で、前回の数値より浸水深が大きくなりました。

また、今回の公表の特徴としまして、建物に衝突した際にせり上がる高さを数字で表した、「基準水位」が発表されております。

詳細は、ホームページから確認できますので、ご覧いただきたいと思っております。

今後、この公表を踏まえまして、平成26年から中断していた両津湊・両津夷地区の津波避難タワーに関する説明会や、今回、浸水区域の変動が大きかった相川地区の説明会を行うほか、ハザードマップの更新などの対応をしてまいる予定でございます。

## 3 「夜の遺産へ、お連れします。『ようま観光バスツアー』」開催について

来月の12月8日（金曜日）、9日（土曜日）の2日間、島内初の試みである「夜の遺産へ、お連れします。『ようま観光バスツアー』」を開催いたします。

まずはこちらの、告知映像をご覧ください。（※映像を画面に流す）

この、「ようま観光バスツアー」は「夜の佐渡観光ツアー」で、佐渡の歴史的遺産や伝統文化、離島ならではの大自然の中を、佐渡の民話や伝承と最先端の映像を融合させた、ミステリアスなイベントを、今までにない演出で体験していただく、新しい夜の体験型観光でございます。

参加者は時刻表にない「ようま観光」バスに乗り、行き先の分からない夜の島内へと出発いたします。

その他、具体的な内容については事業の趣旨により、省略させていただきますが、この取組によりまして、佐渡島には夜も楽しむことができる体験型観光があることを多くの方々に知ってい

ただきたいと思う試みでございます。

また、当事業につきましては、継続的な観光施策にしたいと考えており、夜のバスツアースタイルでの運営、演出を継続して行い、ノウハウを蓄積させ、島内のスタッフのみでも開催できるよう、人材育成をはかりたいと考えております。

佐渡の歴史的遺産や民話、大自然の魅力を、様々な趣向をこらして演出しますので、多くの方楽しんでいただけるものと思っております。

#### 4 「佐渡トキマラソン2018」エントリー開始について

2010年に佐渡初のフルマラソン大会としてスタートした「佐渡トキマラソン」でございますが、9回目となる2018年大会を来年4月22日に開催いたします。

大会へのエントリーは、来週の12月1日（金曜日）から開始となります。

毎回、全国各地から大勢のランナーに参加いただいておりますが、佐渡のランナーの皆様からも大勢ご参加いただきたいと考えております。参加申込期間は来年3月23日の金曜日までとなっております。

大会は全種目、「おんでこドーム」でのスタート・ゴールということは変わりませんが、今回から、2017年大会にゲストとして、お越しいただいたプロランニングコーチの「金 哲彦さん」の監修により、コースを一新し、フルマラソンは東海岸線・トキの森公園・加茂湖畔を走り、ハーフマラソンもトキの森公園を走る、景観に富んだコースに変更となります。

制限時間もフルマラソンは従来の6時間から7時間に、ハーフマラソンは3時間から3時間半へと延長し、参加者の皆様が余裕をもって走れるよう設定いたします。

また、『マラソン・観光・食・体験の融合』をテーマに、新たな試みとして、例年3月に真野の「いぶき21」で開催していた『さど食の陣』を「おんでこドーム」で同時開催し、佐渡の伝統や文化の魅力を体験する、ワークショップ型のコーナーも計画しております。

大会前日は、大会アドバイザーとしてお迎えする金 哲彦さんによるランニング教室や、ゲストのタレント、森脇健児さんのトークショーをはじめ、地元芸能披露やスポンサー提供の抽選会も行ないます。

これまで以上の『おもてなし』で参加者の皆様をお迎えしたいと考えておりますので、「佐渡トキマラソン2018」に多くの皆様のご参加をお待ちしております。

## 質疑応答

### 1 平成29年度佐渡市一般会計補正予算（第8号）について

記者：

主な補正項目の佐渡中央会館整備事業の補正経費についてなんですが、具体的にどのような改修を行われるのか？

社会教育課長：

このアミューズメント佐渡ですけれど、平成6年の開館ということで築23年経過してるということでもあります。音響、照明、空調等の改修、それから舞台の吊り物でございますけれども、ワイヤー等の損傷がありますので、そういうことも懸念されておりますので、その改修を行いたいと思っております。

その他にも建物全般に渡りまして、老朽化部分が見受けられるということもございますので、外壁、内装、トイレとかも改装したいと思っております。その他、大ホール、はまなすホールにつきましては、特定天井ということになっておりますので、そこの改修もしたいということで考えております。

記者：

トライアスロンにイベントなどそこではいろんなことで事務局になってますよね。色んな会合の場所でもあります。1年の長期間になるわけでしょうけど、デメリットというのはどのように考えてますか？そこを使用できない、佐渡中央文化会館が使用できないデメリット。

市長：

会議等々小さな催し物については、例えば佐和田で言いますと行政サービスセンターの脇の中央会館等を開館しますので、そのスペースを利用させていただいたり、あとイベント等の催し物についてはこの間、一定規模以上のものは、両津の文化会館のほうで、申し訳ないけど対応していただくということになるかと思えます。

記者：

今の、その関連で、具体的に工期はいつからいつまでで、実際使われなくなるという認識でよろしいでしょうか。

市長：

はい。

社会教育課長：

工期でございますけれども、来年の3月から、その翌年の3月まで、ということで約1年間をかけて工事を行うことで考えております。

記者：

今ほどあった小さい会議は、行政サービスセンター等の会議室等を利用するとのことでしたけど、イベントの拠点でもあったわけで、その発表会とかイベントとかの代替ってのはどういう施設を考えているのでしょうか。

市長：

それは大きいイベント系については今言わせていただいたように、両津文化会館を広さとしては大規模な代替として、後はあいぼーと佐渡等含め、複合施設も可能な限り利用するという事です。

記者：

来年ですとトライアスロンの30回という節目の大会ですけれども、それも両津文化会館でやるんですか。

市長：

サンテラ佐渡スーパーアリーナもございますので、会場のほうはスペース的には問題ないと考えております。

## 2 新潟県による新たな津波浸水想定を発表について

記者：

この中で、平成26年から中断していた両津湊、両津夷の津波避難タワーや色々説明会が開催されるようですが、日程等決まったらお聞かせください。

市長：

日程は、これから調整させていただきます。あの、26年度当時の予定、計画はまた修正する点がございますので、極力早めに日程調整をさせていただいて、その該当地区へ連絡させていただきながらやることになりましたが、詳細は担当課長のほうからさせていただきます。

防災管財課長：

住民説明会ということで、このあと25日の広報の際にも、お知らせしようかと思いますが一応、今のところ予定としまして、両津地区につきましては対象が湊と夷ということになりますが、12月19日の午後7時からあいぽーとで開催したいと予定しております。

それから今回、浸水想定で大きく想定の変わりました相川地区につきましても12月21日の夜7時から、相川支所の3階を会場として説明会を予定しております。

記者：

平成26年から中断していた取組とありますが、これは何か、中断した理由とかあるんですか。

市長：

これは、県の浸水想定等の県の検討踏まえての県の浸水発表がずっと出されてなかったことで、こちらにもそれに準じて待ってます。

記者：

これだけの津波の高さ出たということはですね、柏崎刈羽原発での影響というものが当然考えられて、佐渡対岸なわけですけど。市民も不安に思ってる人も出始めておるわけですけども、その辺りのこの見解はいかがですか。

市長：

原発の再稼働については、従来から言ってきた通り佐渡は逃げ場所がないので、島環境でございますので、現状最終的な県の調査も含めて、これを見届けない限り、原発の再稼働反対という立場は変わらないということでございます。ただ、今回の浸水想定についても、建物にぶつかったせり上がりの数値とかも出ております。これについては佐渡でいくと、そういうふうにあの島の回り全部、そういう建物がズラッと並んでるわけでもございませんので、そのへんの浸水想定とせりあがりの数値とかを、あまり誤解がないような部分も含めて、特にあの規模が変更になった地域については丁寧に説明させていただいて、必要以上の不安を感じないでいただくというふうに考えております。

### 3 「夜の遺産へ、お連れします。『ようま観光バスツアー』開催について

記者：

現在の予約状況とかは？

観光振興課長：

現在の予約状況ということですがけれども、観光協会と、全国ローソンチケットで販売しております。ローソンチケットにつきましては残り13枚というところですが。従いまして、もう70%～80%くらいは売れてしまっているところがございます。

記者：

これは全て島外の方？

観光振興課長：

実は今の段階では島内のほうが多いです。島外の方が、大体全体の3割くらい。5割ちょっとが島内ということですが。

記者：

7割が島内で、3割が島外。

観光振興課長：

はい。

記者：

13枚なんですけれども、8日、9日で何枚ずつ？

観光振興課長：

8日が10枚、9日は残り3枚となっております。

#### 4 「佐渡トキマラソン2018」エントリー開始について

記者：

特に定員が書いてないんですけど定員はありますか。

社会教育課長：

募集定員は、特に設けておりませんが、目標としては3千人呼びたいと考えております。

記者：

あとこれ、コース変わったんですけどですけど、前回の、あれ？前回ってか去年はたぶん中止？

市長：

いや去年はやってます。一昨年が途中で中止。

記者：

前回のコースはどんなコース。どこを通ったかわかる

市長：

それについてはあとで資料を渡したいと思います。